

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 平成 29 年 1 月 26 日（木）

午前 10 時 02 分 開会

午前 10 時 34 分 閉会

○ 場 所 第 3 常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	桃原 朗
委員	宮城 克
委員	山城 康弘
委員	比嘉 憲康
委員	我如古 盛英

副委員長	伊波 一男
委員	石川 慶
委員	濱元 朝晴
委員	桃原 功

議長	大城 政利
----	-------

○ 欠席委員（1名）

委員	伊佐 哲雄
----	-------

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（0名）

○ 議会事務局職員出席者（2名）

課長	多和田 眞満
----	--------

議事係長	中村 誠
------	------

○ 協議案件

1. 米海兵隊AH-1Z攻撃ヘリコプターのうるま市伊計島への不時着に係る抗議決議等について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

平成 29 年 1 月 26 日（木）

○**桃原朗 委員長** ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前 10 時 02 分）

【協議事項】

米海兵隊 AH - 1 Z 攻撃ヘリコプターのうるま市伊計島への不時着に係る抗議決議等について

- 桃原朗 委員長** 招集の申し出があった桃原功委員より、趣旨説明をお願いしたい。
- 桃原功 委員** 12 月 13 日に普天間基地所属のオスプレイが名護市安部沿岸へ墜落し、翌月 1 月には普天間基地所属の AH - 1 Z ヘリがうるま市へ不時着した事故を受け、これまで以上に強い抗議をしなければならないと考えている。ぜひ直接抗議行動を提起したい。また、今回はヘリを運行している普天間基地司令官や新政権になった米国総領事、外務省沖縄担当大使へもぜひ直接抗議すべきと考えている。
- 桃原朗 委員長** 各委員の意見を伺いたい。
- 我如古盛英 委員** これまでも部品落下事故等があったが、これだけ大きな事故が立て続けに起こっており、市民の恐怖は計り知れない。市民の恐怖を拭い去るためにも、ぜひ議会が先頭に立って取り組むべきと考える。
- 比嘉憲康 委員** 普天間基地を抱えている自治体として、抗議決議は行ったほうがよいと考えるが、決議文を郵送するか、直接抗議するかについては判断しかねる。
- 濱元朝晴 委員** 文書で抗議すべきとの考えはあるが、会派へ持ち帰り検討したい。
- 宮城克 委員** 全て会派へ持ち帰り、慎重に審議した上で結論を出してまいりたい。
- 桃原朗 委員長** では各会派へ持ち帰りということでしょうか。
- 大城政利 議長** もし抗議をすることになった場合の流れや日程的な部分も確認すべきではないか。
- 議会事務局** 次の委員会で抗議決議を行うということで合意がなされれば、その際に文案のたたき台を示して、さらに次の委員会で文案及び要請方法を決定し、臨時会の招集請求手続、臨時会の開催という流れになる。
- 桃原朗 委員長** 臨時会開催までの手続を踏まえると、早目に結論づける必要がある。次の委員会開催日はいつがよいか。
- 大城政利 議長** 本市が抱えている基地の所属機でもあり、抗議すると決まった場合は、3 月定例会を待つよりは早急に臨時会で対応すべきと考える。また、市長も抗

議を行っていることや、議会に対する市民の期待の声も踏まえ検討いただきたい。

- 山城康弘 委員 来週の週始めは委員長が不在ということもあるが、その間でも委員会を開催し、方向性だけは決めておいてもよいのではないか。
- 桃原功 委員 公明党会派の意見を聞いていないが、確認すべきではないか。
- 伊波一男 委員 当市のことであり、抗議は当たり前に行うべきと考えているが、直接要請するのか、送付にするのかについては会派内でも話し合っていない。
- 桃原功 委員 抗議文の送付という意見もあるが、文書の送付だけでは市民の怒りは伝わらない。ぜひ直接抗議が行えるように会派内での協議を進めていただきたい。
- 宮城克 委員 抗議をするに当たり、よりスピーディーな対応を考えた場合、各会派での調整を早急に行い、1月30日には委員会で方向性を決め、2月2日に文案等の決定、6日に臨時会を開催するといった流れがよいのではないか。
- 桃原功 委員 事務手続上、2月6日の臨時会開催も可能か。
- 議会事務局 招集する市長の日程はあるが、事務手続上は問題ないと考える。
- 桃原朗 委員長 抗議する方向となれば、桃原功委員と事務局において決議文のたたき台を作成してもらうとともに、6日に臨時会を開催、臨時会終了後に要請行動を行うということによいか。
- 伊波一男 委員 本日会派への持ち帰る内容としては、抗議をするということとあわせて、決議文の郵送対応か直接要請するのかということまでと理解しており、30日の委員会でその考え方を確認するということがよいか。抗議はするという方向性でよいのか。
- 山城康弘 委員 特に問題はないと考えているが、一度持ち帰らせていただきたい。
- 桃原朗 委員長 そのように進めてまいりたい。次は1月30日の午前10時から委員会を開催し、引き続き協議してまいりたい。

【協議結果】

本件の取り扱いについては、次回の委員会で引き続き協議していくことに決定する。

-
- 桃原朗 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻（午前10時34分）